

手稲区では、住民の孤立を防止し、地域の住民同士が支え合う「見守り・安否確認」活動が、町内会や福祉のまち推進センター、民生委員・児童委員など、さまざまな人や団体により実施され、大きな広がりを見せています。この日常の見守りは、災害時に援助を必要とする高齢者や障がいのある方など「災害時要援護者」の命を、いち早く救うことにつながります。今月は、昨年11月に開催された「手稲区災害時要援護者避難支援講演会」について紹介します。また、区役所や区内の団体が行っている日常の「見守り活動」についても紹介します。

【問い合わせ先】保健福祉課活動推進担当 ☎ 681-2478

町内会関係者や地域の民生委員・児童委員など200人が参加し、支え合いの“コツ”や工夫などについて、理解を深めました。

### 身近な地域の実践事例①

発表者：南十字星町内会（星置地区）<sup>さいとうしげこ</sup> 齊藤茂子さん



#### マンションにおける災害時の助け合い活動

震災前は、住民の大半が、災害に対する危機意識が希薄で、地震よりも火災の方を心配していた。また、プライバシーを干渉されたくない人も多い状況だった。しかし、震災後は、地震や津波などの自然災害への意識も高まり、そ

れとともに独居世帯や高齢世帯の不安が出てきた。

町内会で「災害時の支援に関するアンケート調査」を行ったところ、取り組みへの肯定的意見や支援の申し出と提案が多く寄せられた。

現在は、要援護者と支援者の登録カードを作成、マンション理事会との役割分担などの連携も進んでいる。

#### 今後の課題

町内会役員の交代による活動の停滞や、時間の経過とともに災害に対する危機意識が薄れていくことが懸念される。



### 身近な地域の実践事例②

発表者：富丘東一町内会（富丘西宮の沢地区）<sup>たけやえいこ</sup> 竹谷英子さん

#### 町内会の福祉活動

町内会の急速な高齢化への取り組みとして「日常からの見守り・支え合い活動」を位置付けた。そのとき、地区福祉のまち推進センターから「札幌市65歳以上世帯名簿を活用した実態把握」について助言を受け、町内会が「福祉マップ」を作成し、基盤を整備。

日常的な「ラジオ体操」「朝の除雪」や「町内行事への参加」を見守り活動のきっかけとし、70歳以上で独居の方をそっと見守ることから始めている。

これをきっかけとして、自宅訪問や電話訪問による見守りへと進んでいる。今後は、災害時にも役立つ体制づくりにつなげたい。

#### 今後の課題

町内会では、70歳以上の一人暮らし高齢者の皆さんへアンケート調査を行った。それを参考に「ちょっとしたお手伝い」や「茶話会」などの活動を予定している。

親睦を深めながら、活動をどのように継続していくかが大切だと考えている。



### 老人クラブの取り組み

老人クラブは、高齢者の知識や経験を生かして、高齢者自身の生活を豊かにするとともに、長寿社会づくりに貢献することを目的として、活動しています。

その中には、地域での見守り活動にもつながる取り組みがあります。

- 幼稚園児、小学生などとの世代間交流
- 一人暮らし高齢者への訪問
- 地域の見守りパトロール
- 近隣付き合いを通じた支え合い活動



【詳細】保健福祉課活動推進担当 ☎ 681-2478

### 区役所からのお知らせ

手稲区役所では、「手稲区見守り推進プロジェクト」を発足し、地域で見守り活動をする皆さんへの支援やお手伝いをしています。その一つとして、見守り活動を行っている町内会や、これから始めようとする地域の皆さんに役立つ情報を提供するため、区内で実施している見守り活動の事例を集めた「(仮)手稲区見守り活動事例集」を作成しています。

3月末に完成予定で、完成後は各地域にお知らせする予定です。

